

## 経営課題2

# 誰もが健康でいきいきと暮らし、 支えあうまちづくり

### めざすべき将来像（概ね10～20年間を設定）

- ・障がいのある方、高齢者や子どもを地域みんなが互いに見守り、支えあう
- ・保育所、幼稚園などが充実し、安心して働くことができる

### 現状・データ

- ・城東区では人口はほぼ横ばいに推移している。
- ・出生数平成23年度1,549人平成24年度1,511人、平成25年度1,420人と減少傾向になっている。一方、平成12年の65歳以上人口は26,275人（16.6%）が平成23年には36,537人（22.1%）と高齢化が進んでいる。
- ・また、要介護認定者数や障がい手帳所持者数なども年々増加傾向にある。
- ・平成20年度以降、毎年、保育所の整備が進み、保育所4か所、認定こども園3か所、小規模保育4か所、その他、分園整備等により保育所入所児童数が拡充されている。また、平成28年2月に保育所1か所、4月に小規模保育1か所が新たに開設。



## 現状・データ

## 城東区の状況

## ◆子どもに関するデータ

区内子育て支援機関(H28.6現在)		保育施設・事業在籍児童数		私立幼稚園在籍児童数	
民間保育所	19	平成26年4月	3,533	平成25年5月	1,477
公立保育所	3	平成27年4月	3,943	平成26年5月	1,427
認定こども園	4	平成28年4月	3,958	平成27年5月	1,162
小規模保育	5	※平成27年から認定こども園の1号認定子どもを含む。		※平成27年5月分から認定こども園の1号認定を除く。	
私立幼稚園	6	保育施設・事業待機児童数		市立幼稚園在籍児童数	
市立幼稚園	2	平成26年4月	15	平成25年5月	366
つどいのひろば	3	平成27年4月	26	平成26年5月	326
子育て支援センター	2	平成28年4月	36	平成27年5月	296
子ども・子育てプラザ	1	子育て支援室相談件数(虐待相談)		DV相談件数	
		平成25年度	679(213)	平成25年度	76
		平成26年度	525(220)	平成26年度	73
		平成27年度	551(228)	平成27年度	83



## ◆高齢者に関するデータ

要介護認定者数(内訳)					高齢者虐待件数	
	25年3月	26年3月	27年3月	28年3月	平成25年度	平成26年度
要支援1	2,006	2,174	2,362	2,393	53	55
要支援2	888	1,101	1,389	1,442	63	
要介護1	1,508	1,428	1,247	1,290		
要介護2	1,026	1,165	1,302	1,266		
要介護3	853	859	896	974		
要介護4	942	985	987	1,039		
要介護5	755	747	753	801		

## ◆障がい手帳に関するデータ

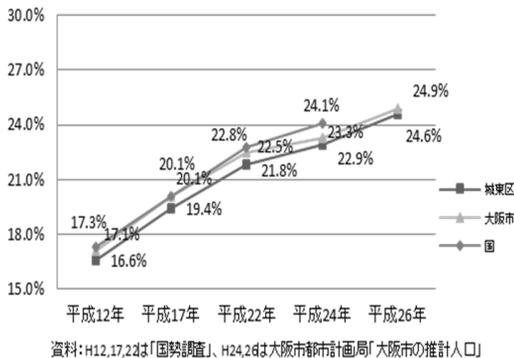
身体障がい者手帳所持者		療育手帳所持者		障がい者(精神)手帳所持者	
平成26年3月	6,771	平成26年3月	1,250	平成26年3月	1,342
平成27年3月	6,867	平成27年3月	1,297	平成27年3月	1,475
平成28年3月	7,010	平成28年3月	1,379	平成28年3月	1,612

# 現状・データ

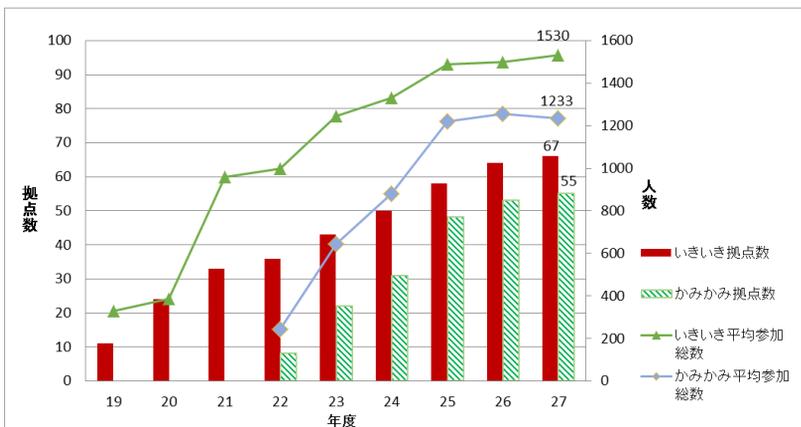
## 城東区の状況

### ◆健康に関するデータ

#### ■高齢化率の年次推移

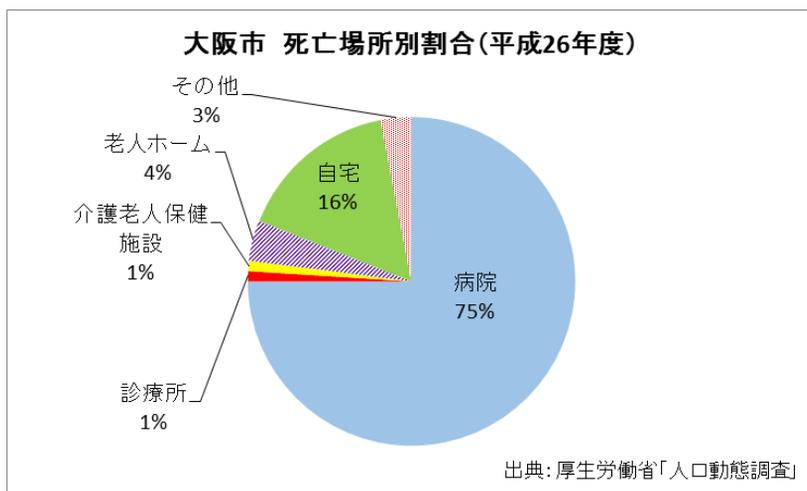
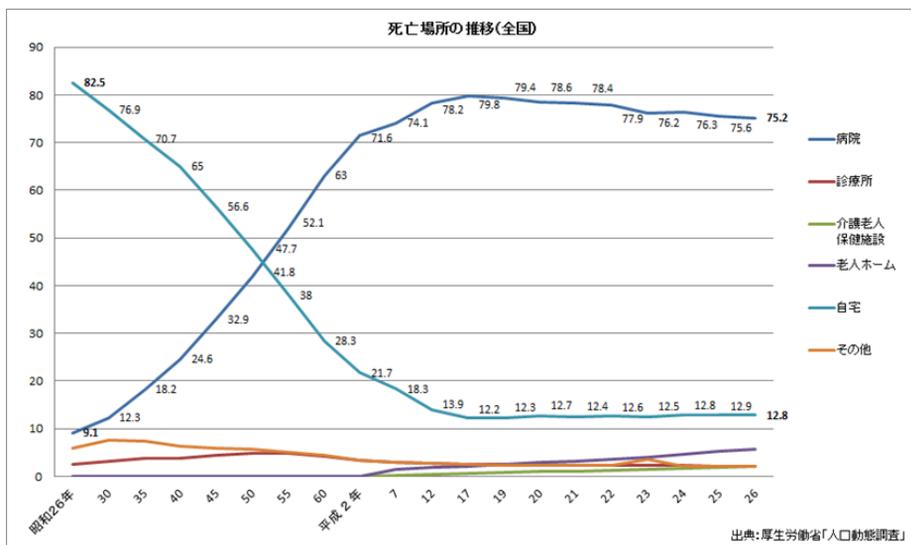


#### ■いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操実施拠点数及び参加者数



#### ■区民モニターアンケート 「いきいき百歳体操」認知度（60歳以上） H23 36.9% H26 39.3% H27 47.0%

### ◆在宅療養に関するデータ



# 現状・データ

## 城東区の状況

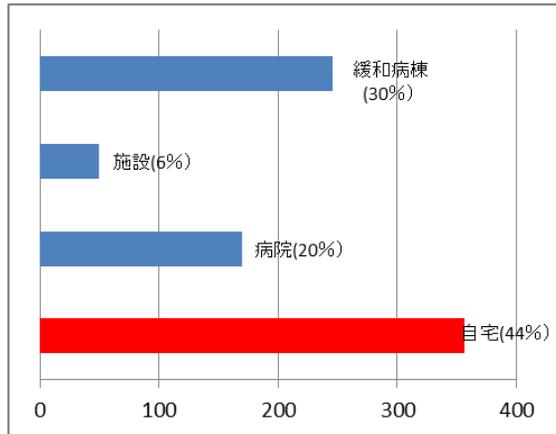
城東区民へのアンケート結果（平成26年10月～11月調査）

テーマ：「人生の最終段階における過ごし方について」

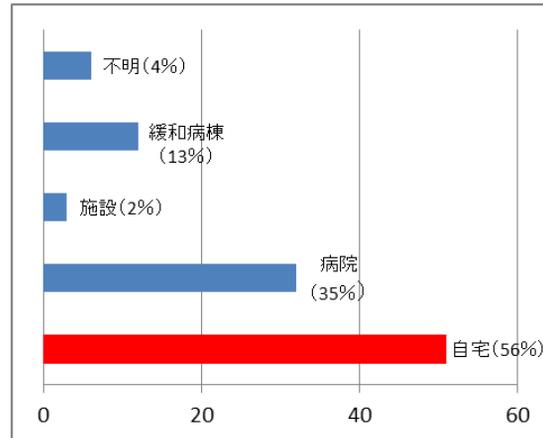
調査協力：城東区医師会、城東区歯科医師会、城東区薬剤師会、城東区内各地域包括支援センター、  
城東区内訪問看護ステーション管理者会

回答者：城東区民799名（医療機関等の患者・利用者）及びその家族91名

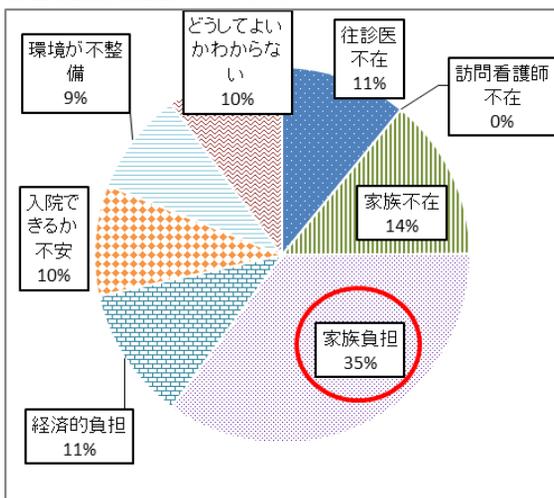
■回復の見込みのない状況でどこで過ごしたいですか（本人）



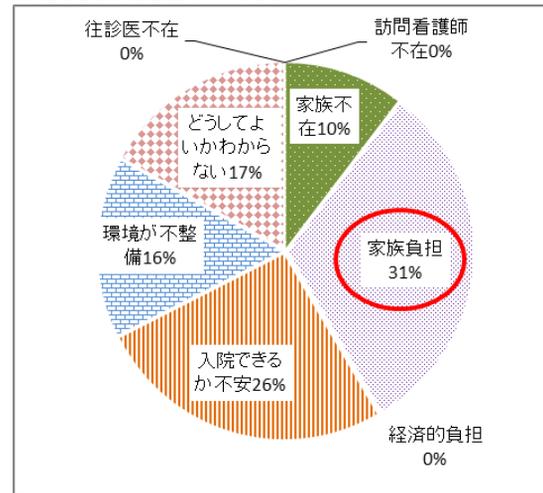
■回復の見込みのない状況で家族にどこで過ごさせたいですか（家族）



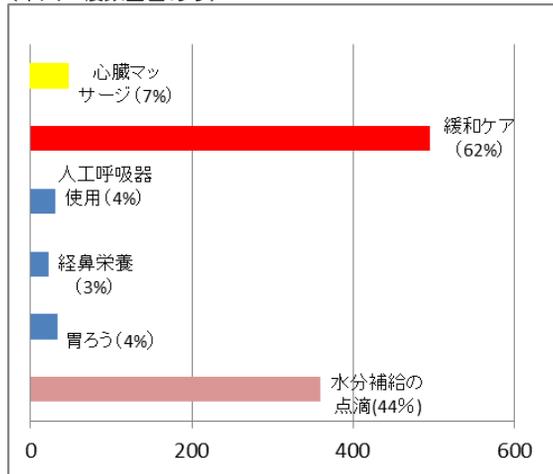
■自宅療養困難理由は？（本人）



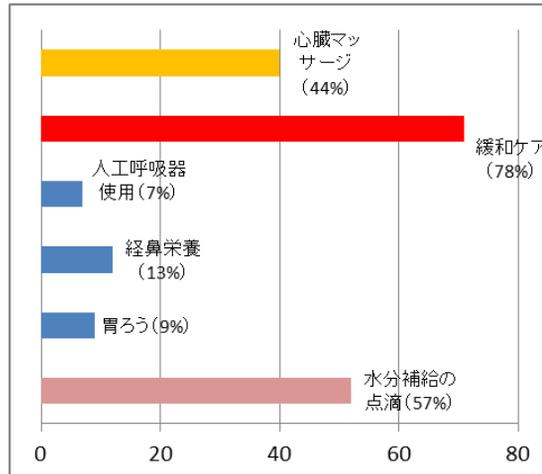
■自宅療養困難理由は？（家族）



■回復の見込みのない状況で希望するケアは？  
（本人：複数回答あり）



■回復の見込みのない状況で希望するケアは？  
（家族：複数回答あり）



## 分析

- 高齢者推計人口、要介護認定者数、障がい手帳所持者が増加傾向にあり、新しい住民の増加、高齢化が著しい地域など地域差に加え、核家族化、生活様式の多様化など社会状況の変化により、児童・障がい者・高齢者への虐待、いじめ、DV、ネグレクトなど多様な問題が発生している。
- 団塊の世代の方の加齢により今後区民の高齢化が急激に進展することが見込まれる。一方で国や大阪府の動向から、病床数の拡充は見込めない状況。
- 城東区では、保育所の整備が毎年すすんでいるが、新規のマンション建設も次々と進み、待機児童は増加に転じている。

## 課題

- 誰もが安心して住み続けることができる地域社会の実現に向けた、地域住民や、様々な団体との協働により、高齢者や障がいなど、支援を要する方、子どもなど、地域ぐるみでの見守りなど地域の活動の支援。
- 医療処置を必要とする高齢者や認知症高齢者等の急激な増加に備え、地域で支えるため、地域包括ケアシステムを構築し在宅医療と介護の連携を推進。
- 今後もマンションの建設がすすみ、待機児童や保育ニーズの増加が見込まれることから、保育施設・事業等の拡充が必要。
- ネグレクトや就学援助世帯の増加等の影響もあり、学習習慣が身につけていない児童生徒が増加しており、学習の習慣付けや学力アップが課題。



## 【戦略2-1】

# 子育て世帯が安心して、生み育て、 働くことができるまちへ

### めざす成果（概ね3～5年間を設定）

#### 《めざす状態》

- ・子育て支援の情報が子育て層に向けて発信されている
- ・保育所、幼稚園などが充実し、待機児童がない

#### 《成果目標》

- ・子育てアンケートで子育て支援の情報が子育て層に向けて発信されていると感じる区民の割合 平成31年度末までに60%以上  
（区民モニター：平成27年度実績 39.2%）
- ・待機児童数 平成31年度までに0にする

### 戦略

- ・区広報誌での子育て情報の拡充や、『絵本で子育て！みんなで子育て！』事業等を通じて、子育ての情報発信を強化する。
- ・また、地域での身近な居場所や、相談拠点の開設や、子育て関係機関の連携を強化する。
- ・マンション建築などの動向を注視し、潜在的な保育所ニーズも把握した、保育所整備に向けた取り組みを行う。

## 戦略2-1の具体的取組

### 【2-1-1 子育て支援事業の推進】

- ・絵本展や絵本のイベント、読み聞かせ会などの開催（年10回）
- ・気軽に立ち寄れる場所「絵本カフェ」の開催（20箇所）
- ・広報誌での子育て情報の発信、子育て支援情報誌「わくわく城東」や城東区子育てマップの発行  
（情報誌毎月発行、マップ作成年1回）
- ・子育てサロン、子育て関係機関などとの連携の強化  
（イベント開催年2回）

### 【2-1-2 保育事業の充実】

- ・マンション建築等による新たな保育ニーズ等にも応じた、保育所整備地域の選定や事業者誘致
- ・小規模保育事業の充実
- ・一時保育事業の実施
- ・区役所における一時保育の試行的実施

## 【戦略2-2】

# 高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちへ

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- 地域住民、NPO、企業などさまざまな福祉の担い手の協働により、地域で支え合う活動ができている状態
- 高齢者、障がい者など、支援を要する方を地域で把握できている状態

《成果目標》

- 地域でさまざまな福祉の担い手の協働により、支え合う活動ができていると感じている人の割合 平成31年度末までに60%以上（事業アンケート）

## 戦略

- 地域の特性を活かした、アクションプランを推進し、より地域の実情に応じた地域福祉システムを構築する。
- これまで地域で活動への関わりが薄かった人や地域で働く人など新たな地域福祉の担い手の育成を支援する。

## 戦略2-2の具体的取組

### 【2-2-1 地域福祉支援事業(ソーシャルインクルージョン推進事業)】

- ・「地域サポーター」を中心に、地域における要援護者の情報収集等、災害時要援護者支援を推進
- ・「推進コーディネーター」を中心に、各校下において地域の実情に応じた多様な取組の推進支援を実施
- ・コミュニティカフェなどの新たな地域福祉活動を促進するコーディネーターを配置し、事業展開を図る

(研修等実施 毎月1回)

### 【2-2-2 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業】

- ・要援護者情報の整備
- ・孤立世帯等への専門的対応
- ・認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

[区CM事業(福祉局所管)]

※対象者は高齢者から始め(27年度)、2年目に障がい者、3年目に難病患者へと順次拡大する。



## 用語解説

### 地域支援事業

(ソーシャルインクルージョン推進事業～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築～)

要援護者を含む全ての地域住民が平常時から繋がりを深めながら災害時に備えるとともに、地域の実情に応じた課題を解決できる新たな地域福祉システムの構築をめざした事業です。

各校下に地域福祉のスペシャリストとして地域福祉支援員を配置しており、「ふれあい喫茶」など地域での活動へも参加するなど、要援護者を含む全ての地域住民が平常時から繋がりを深めています。

## 【戦略2-3】

# 高齢者が住み慣れた地域で 安心して暮らし続けるまちへ

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・地域で暮らす高齢者に医療・介護等の必要な支援が切れ目なく提供されるよう、区内の医療・介護関係機関が円滑に連携できる状態。

《成果目標》

- ・区民アンケートで医療・介護等を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する体制「地域包括ケアシステム」についての認知度 平成33年度までに60%  
（区民モニター：平成27年度実績 42.9%）

## 戦略

- ・医師会・地域包括支援センター等、区内の医療・介護関係機関との協働により、限られた医療・介護等の資源を効率的に活用できるように多職種間の連携体制の強化を図り、また区民に対して、在宅療養や看取り等に関する問題を提起しつつ地域包括ケアシステム構築の必要性についての意識啓発を図る。

## 戦略2-3の具体的取組

### 【2-3-1 地域包括ケアシステムの充実・推進】

- ・区内の医療・介護関係者等が参画する「在宅医療・介護連携推進会議」を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議。（年6回以上）
- ・区内の医療・介護関係者が相互に顔の見える関係を築くため、グループワーク等を通じてそれぞれの役割や職種間連携方法について協議する研修会を企画・実施。（年1回）
- ・区民を対象に、誰にでも起こり得る身近な事象から命の尊厳や看取り等について考えていただき、地域包括ケアシステムの普及啓発につなげるための講演会を企画・実施。（年1回）
- ・パンフレット、チラシ、区広報誌、ホームページ等を活用し、区民に対し地域包括ケアシステムにかかる更なる普及啓発を実施。

## 【戦略2-4】

# 子どもたちの豊かな心、確かな学力を 育むまちづくり

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・家庭状況や経済状況にかかわらず、すべての子どもが学習習慣を身につけ、学力アップを図ることができる状態

《成果目標》

- ・地域と学校が連携して学習会を実施するなど、学習習慣を身につけるための手法として効果があった参加児童生徒の割合 平成30年度までに50%以上  
（学校関係者アンケート）

## 戦略

- ・地域やNPO等と学校が連携し、区役所が支援する学習会等をモデル的に実施し、その効果や課題を検証することにより、学習習慣を身につけることができる学習会の実施方法を確立する。

## 戦略2-4の具体的取組

### 【2-4-1 学習会等のモデル実施】

- ① 中学校等の場所において、塾代助成制度を活用した区内中学生対象の学習会【JOTO塾】の実施
- ② 学習会にニーズがあり、条件の整った小学校での時間外学習会の実施
- ③ 区内中学校の不登校生徒を対象とし、学習支援や各種活動プログラムの提供など、個々の生徒の実情に応じた支援を行う「居場所づくり事業」の実施